

「Rびん返却実態調査アンケート」結果報告第2弾

4月に行った「Rびん返却実態調査アンケート」の集計結果やRびんに対する皆さんの意見や疑問を紹介する第2弾をお届けします。

《回収することを知らなかったもの》

◆ピッキング袋(30名) ◆卵のパック(1名)

◆牛乳キャップ&サイドスコア(20名)…(特にサイドスコア)

◆グリーンシステム全般(4名)…(牛乳びんだけと思っていた人もいた)

今回のアンケート実施でグリーンシステムについて多くの組合員に周知することができてよかったです。グリーンシステムについてもっと詳しく知りたい時は「生活クラブ グリーンシステム」で検索するか、右のQRコードから見てください。そこから「グリーンシステムビギナーズガイド(関西版)」も見られます。回収しているRびんの一覧やRびんを返す時のコツなど役立つ情報が満載です。

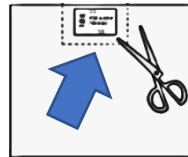


配達業務に関して生活クラブ生協の職員の方に聞きました!

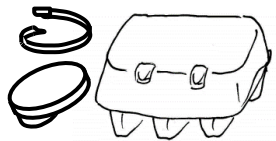


ピッキング袋(消費材の入ったポリ袋)は回収して再資源化されます。その際、名前シールやのりなど異物が混ざると支障が出るので、必ず取り除いて返却してください。手でちぎってもハサミで切り取ってもOKです。穴が開いてしまっても問題ありません。またピッキング袋を生協に返す時、Rびんや卵パック、牛乳キャップ、蓄冷材などは中に入れず、袋の中には何も無い状態で返却してください。

ラベルはハサミで切り取っても手でちぎってもOK!



袋の中には何も入れないでね!



資材類(発泡スチロールの箱、プラスチックコンテナ、蓄冷材、仕切りシートなど)はRびんなどと同様に組合員の共有財産です。雨や泥はねが箱の中まで入っていたり、ペットによるいたずらなどで汚れたり傷ついたりすると場合によっては廃棄しないといけないこともあるそうです。皆で大切に扱っていきましょうね♪

取り忘れの消費材が腐敗していたことも…!



グリーンシステムでゴミを減らしてCO₂を削減 なるほど! 納得! グリーンシステム

生活クラブでよく目にする「グリーンシステム」という言葉。私たち組合員の環境に対する思いが形になった取り組みです。でもまだまだ「よくわからないわ」「知らなかった!」という組合員の声をよく耳にします。

グリーンシステムとは、びんを回収・洗浄してリユース(再使用)、プラスチック類をリサイクルするしくみです。生活クラブ大阪では現在、6種類のリユースびんと牛乳びんを採用しています。調味料やジュースなど、中身の違うものでも、できるだけびん容器の大きさをそろえることによって、回収・洗浄・選別というリユースに不可欠な作業の効率アップに取り組んでいます。さらに、牛乳も紙パックからリユースびんに切り替えました。そして、牛乳びんのプラスチックキャップ、配達用のピッキング袋もリサイクル回収を始め、地球にやさしい「ゴミを出さない暮らし方」を進めています。

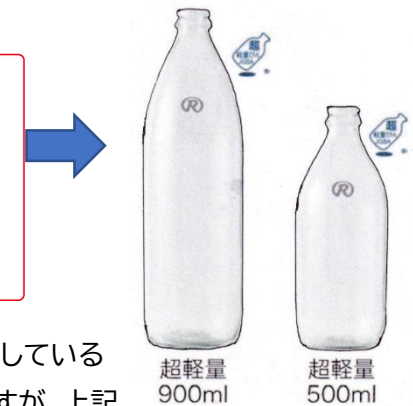
ところがいまRびんが大ピンチ!

「容器包装リサイクル法」により、事業者はリサイクルの費用を負担しなければなりません。自ら回収しているRびんが「自主回収容器」として国に認定されると、その費用が免除されます。生活クラブのRびんは500mlと900mlが認定を受けています。

2021年度 Rびん容量別の回収実績(単位%)

超軽量 900ml	77.5%
超軽量 500ml	76.9%
超軽量 360ml	75.1%
広口UD 350ml	72.1%
中口 200ml	61.6%
ドレッシング 200ml	61.9%

900mlと500ml Rびんのリサイクル費用の免除には
80%以上の
回収率を保つ必要があります
自治体の回収に出さなくて、
必ず生活クラブに返却してね!



いま900mlと500mlのRびんは、おおむね80%以上回収しているものと見なされ未回収分のリサイクル費用が免除されていますが、上記の2021年度の回収実績を見てもわかるとおり現在回収率が低下していて、このままでは認定取り消しの恐れがあります。

また、この2種類以外のRびんは、未回収分(組合員が返却しなかった分)のリサイクル費用を負担することになっていて、生活クラブが支払っています。費用のことだけでなく、Rびんを繰り返し使用することは毎回新びんを使うのと比べてCO₂排出が少なくてすみます。プラスチック容器の削減にもなります。私たち組合員のちょっとした心がけで環境により負担をかけない暮らし方が実現します。

Rびん返却をまだ知らないお知り合いの組合員がいたらぜひひと言声をかけてあげてください。組合員一人一人の地道な取り組みが大きな力になるのです。

